

企画展 **べらぼうな浮世絵師22人展**

展示期間：2025年7月15日（火）～2026年1月25日（日）

デフォルメを駆使した役者絵を描き、わずか10ヶ月の活動で忽然と姿を消した謎多き絵師・**東洲斎写楽**や、日本だけではなく世界にも影響を与えた天才絵師・**葛飾北斎**をはじめ、大阪浮世絵美術館が誇る名品の中から**選りすぐった浮世絵師22人の57作品**をどどんと大公開します！

## ここに注目！

## 1, 江戸時代・明治時代に活躍した錚々たるメンバーの浮世絵版画を一挙公開！

【展示予定の絵師】

円山応挙・葛飾北斎・東洲斎写楽・歌川豊国・歌川国長・  
三代豊国（国貞）・歌川広重・歌川国芳・歌川貞秀・歌川芳艶・  
二代国貞・二代広重・歌川芳盛・歌川芳幾・楊洲周延・月岡芳年・  
三代広重・小林清親・尾形月耕・水野年方・月岡耕漁・吉田博



(左) 葛飾北斎「富嶽三十六景 凱風快晴」(右) 歌川広重「名所江戸百景 亀戸梅屋舗」

## 2, 東洲斎写楽「四代目岩井半四郎の重の井」をはじめ、当館初公開の作品が16作品！

「四代目岩井半四郎の重の井」は「世界の三大肖像画家」と称された写楽を代表する作品のうちの1枚で、大首絵と呼ばれるスタイル・黒雲母摺りの背景で描かれており重厚感のある逸品です。

幕末から明治時代にかけて活動し「最後の浮世絵師」とも呼ばれる月岡芳年の作品「月百姿 吼喊」、近現代の京都画壇にまでその系統が続く円山派の祖である円山応挙の作品「葵祭」など、初公開の16作品も必見です！



(左) 東洲斎写楽「四代目岩井半四郎の重の井」(右) 月岡芳年「月百姿 吼喊」

## 3, ルーペを使って間近でじっくりと鑑賞



当館の展示室内には柵を設けず、無料貸し出しのルーペを使って繊細な浮世絵版画の技術や細かく摺られた模様などを間近でじっくりとご鑑賞頂けます。（数に限りがございます。全て貸出中の場合はご容赦ください）

〒542-0085 大阪市中央区心斎橋筋2-2-23 不二家心斎橋ビル3F 大阪浮世絵美術館

※エレベーター、エスカレーター設備のないビルですので、予めご了承ください。

【開館時間】10:00～17:00（最終入館 16:30）

【休館日】年末年始、展示替え日（2025年7月14日・2026年1月26日）

※開館時間・休館日は状況により急遽変更となる可能性があります。詳しくはホームページをご確認ください。

【観覧料】大人1,000円 / 学生（学生証提示）600円 / 小学生（7～12歳）300円

&lt;本件に関するお問い合わせ先&gt;

TEL.06-4256-1311 / FAX.06-4256-1312 / Mail.&lt;info@osaka-ukiyo-e-museum.com&gt;

<https://osaka-ukiyo-e-museum.com/>